

【生徒の実態】
 ○あいさつがよく、礼儀正しく対応できる
 ○素直で落ち着いている
 ○物事への対応がやや依存的であり、主体性を伸ばす必要がある

【学校の教育目標】
 志高く 本気で挑戦する生徒の育成
 (1) 人権を尊重し、調和の取れた個性豊かな人づくりをめざす。
 (2) 生徒一人一人が達成感や充実感を持った活力ある学校をめざす。
 (3) 保護者・地域から信頼される学校づくりをめざす。

【保護者の願い】
 ○あいさつができ、良好な人間関係の構築ができる
 ○基礎的・基本的な知識及び技能の定着
 ○思考力、判断力、表現力の育成
 ○健康で安全な生活

【地域の実態】
 ○地域としてのつながりや連携性が高い
 ○学校教育に対する理解があり、協力的である

【総合的な学習の時間の目標】
 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。
 (1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
 (2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
 (3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる

【地域の願い】
 ○自分たちの地域や産業、文化等に誇りをもつ
 ○豊かな人間性を身に付けている
 ○地域と積極的に関わり、行事等にすすんで参加する

【内容】 <目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>

学年	第1学年（50時間）	第2学年（70時間）	第3学年（70時間）		
テーマ	地域を知ろう・地域を守ろう	地域を知ろう・地域を守ろう	地域を知ろう・地域を守ろう		
探究課題	地域の自然や伝統文化、産業等について 防災について	地域の産業や伝統文化、自分の進路 地域の防災対策	町づくりや地域活性化のために取り組む人や組織 災害に強い街づくり		
育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	・地域の自然環境や環境問題の現状が分かる。 ・地域の環境の現状と自分との関わりが分かる。 ・情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	・地域の伝統や産業の特徴が分かる。 ・地域の伝統や産業と自分との関わりが分かる。 ・地域の防災対策を知る。 ・情報を多面的に見る、考えを具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	・街づくりや地域活性化の取組に関わる人々の思いや願いが分かる。 ・街づくりと自分との関わりが分かる。 ・情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	
	思考力・判断力・表現力等	課題の設定	・問題状況の中から課題を発見し設定している。 ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。		
		情報の収集	・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。		
		整理・分析	・問題状況における事実や関係を把握し、理解する。 ・多様な情報にある特徴を見付ける。 ・事象を比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。		
		まとめ・表現	・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ・国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現している。		
		振り返り	・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。		
	学びに向かう力・人間性等	主体性	・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。		
		協働性	・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。		
		自己理解	・探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。		
		他者理解	・探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重している。		
地域貢献		・探究的な活動を通して、進んで地域の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。			

【学習活動】
 ・地域の実態、生徒の実態を踏まえ、探究課題を設定する。
 ・地域の人、もの、ことを生かした学習活動を行う。
 ・学習成果を表現する場として文化祭を活用する。
 ・年間1テーマでの取組を基本とする。

【指導方法】
 ・生徒の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。
 ・個に応じた指導の工夫を行う。
 ・体験活動を重視する。
 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。
 ・言語により整理分析したり、まとめ表現したりする学習を重視する。
 ・協働的な学習を充実させるため、思考ツールを積極的に活用する。

【指導体制】
 ・全校指導体制を組織する。
 ・運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。
 ・情報提供元として学校図書館との連携を図る。
 ・地域の教育資源をデータ化するとともに、日常的な関わりを行う。

【学習評価】
 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。
 ・個人内評価を重視する。
 ・指導と評価の一体化を充実する。
 ・授業分析による学習指導の評価を重視する。
 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。

【各教科等との関連】

各教科等	道徳教育	特別活動
<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ意欲と傾聴する力の向上 探究的な学びの素地を養う 協働的な学習場面の設定 わかる授業、活気のある授業の展開 知識及び技能の確実な習得と活用 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳科の時間を要として、思いやる心を育む。 指導の重点項目 「真理の探究、創造」 「思いやり、感謝」 「社会参画、公共の精神」 「相互理解、寛容」 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する。 合意形成や意思決定できるようにする。 役割を分担して協力して実践する。

【小学校や近隣の中学校、進学校との連携】

【近隣の小学校との連携】
 ・小学校で育成された資質・能力の系統性を確認する。
 ・小学校での学習内容を確認する。

【近隣の中学校との連携】
 ・総合的な学習の時間の目標、内容、年間指導計画等の交流
 ・指導方法や学習評価の在り方の合同研修

【進学校との連携】
 ・中学校での総合的な学習の時間の目標、内容、年間計画等
 ・育成を目指す資質・能力